

# 第1回

## 中川・綾瀬川有識者会議資料

平成18年12月4日  
関東地方整備局  
江戸川河川事務所

# 旧制度

## 工事実施基本計画

内容 基本方針、基本高水、計画高水流量等  
主な河川工事の内容

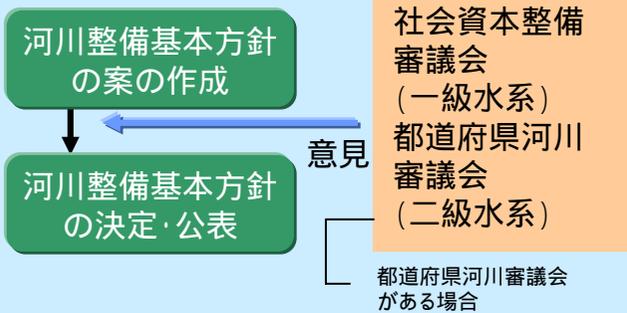


## 河川工事

# 新制度

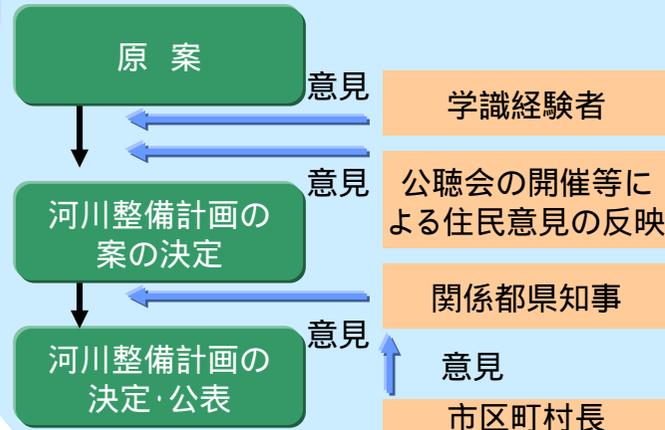
## 河川整備基本方針

内容 基本方針  
基本高水、計画高水流量等



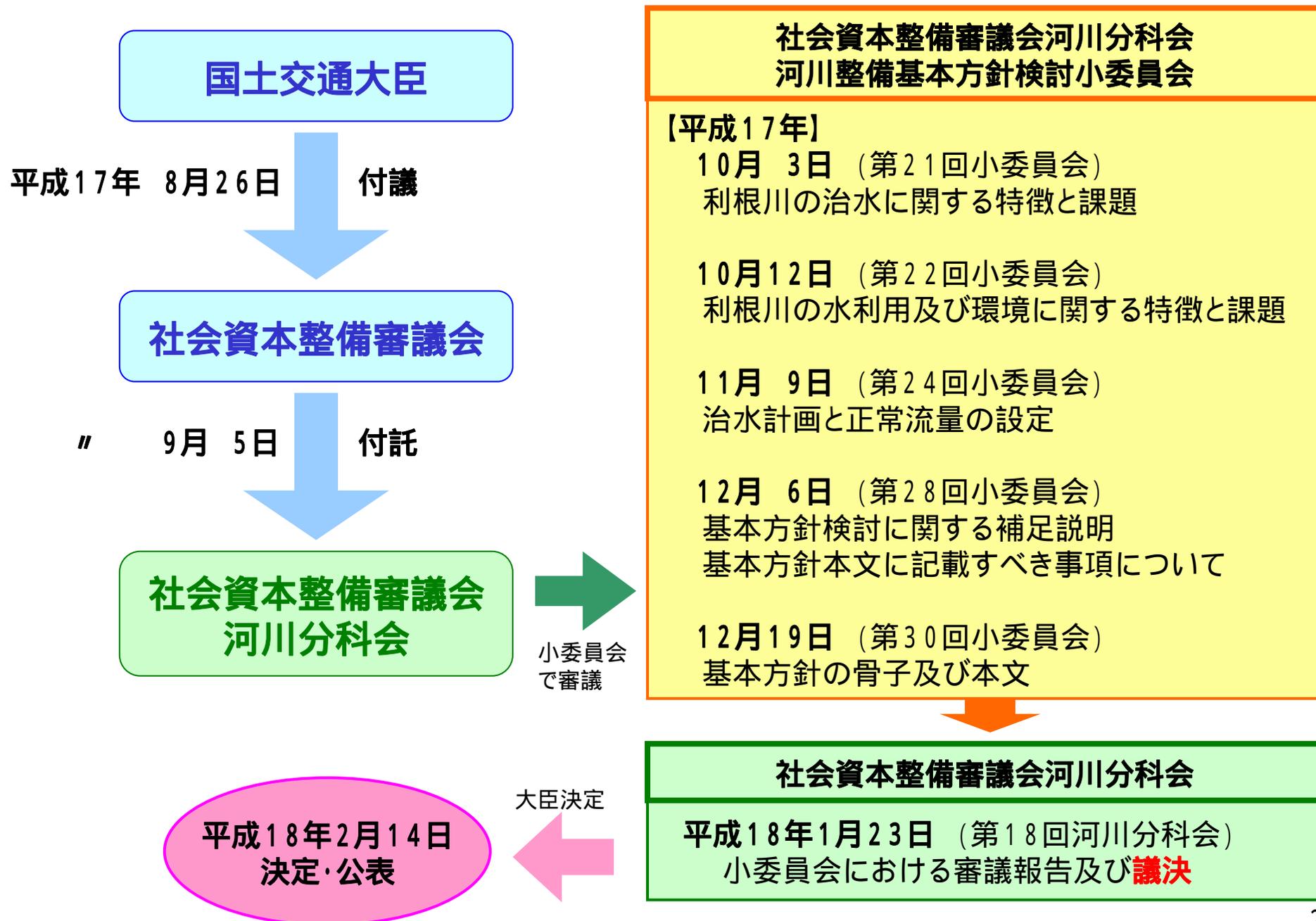
## 河川整備計画

内容 河川整備の目標  
河川工事、河川の維持の内容

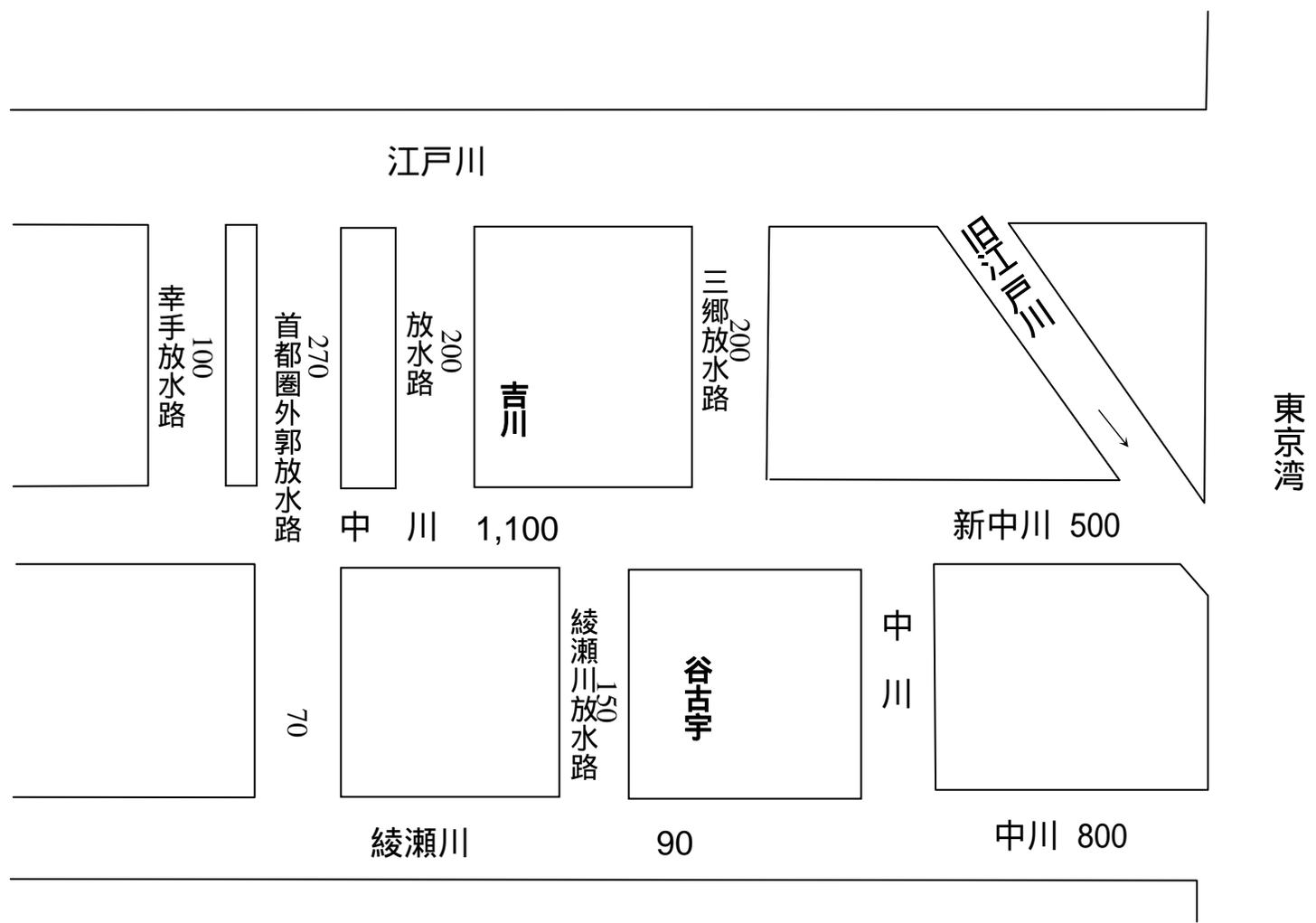


## 河川工事、河川の維持

# 利根川水系河川整備基本方針の審議経過



# 中川・綾瀬川 河川整備基本方針計画高水流量図



単位:m<sup>3</sup>/s

# 河川整備計画策定の進め方

意見聴取のための原案の作成



学識者への意見聴取



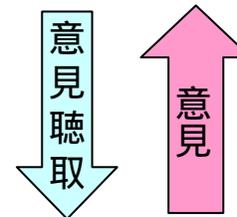
関係住民の意見反映のための措置

公聴会の開催等

意見を踏まえた案の作成



関係都県知事への意見聴取



関係市区町村長への意見聴取

決定・公表

# 利根川水系中川・綾瀬川における河川整備計画の目標等について(治水)

## 目標等について

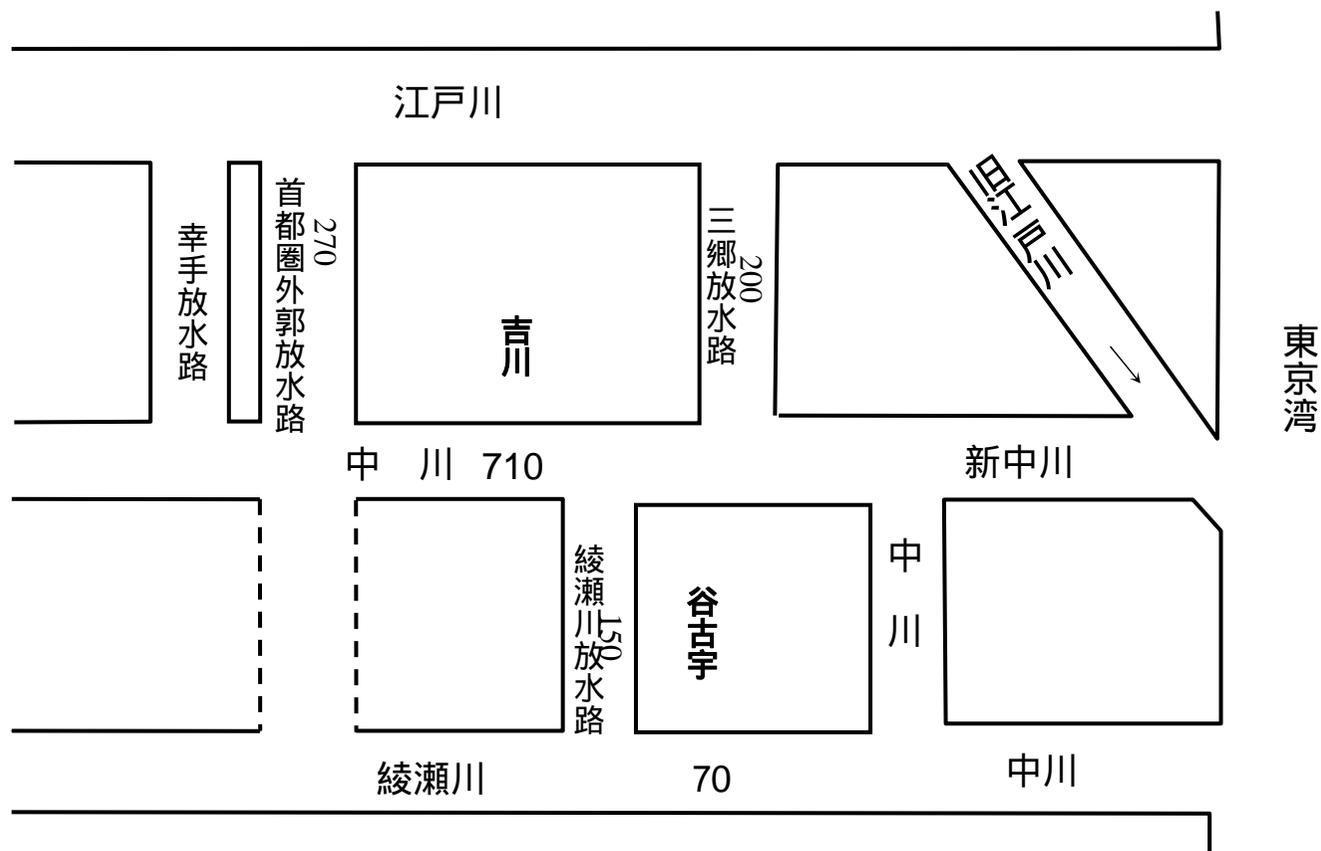
目標: 将来的な目標(河川整備基本方針)を踏まえ、**段階的な整備**を行う。

中川・綾瀬川 : 基本方針1 / 100……………**整備計画1 / 30**

(戦後最大規模の降雨であった狩野川台風(S33.9)規模の洪水)

計画期間 : **概ね30年間**

## 河川整備計画目標流量



単位: m<sup>3</sup>/s

注) この資料は検討上の資料であり、今後の検討によって変わりうるものである。

## 中川・綾瀬川における河川整備計画の考え方(治水)

### 現状及び課題

全川にわたり流下能力が不足しており、治水安全度は1 / 5以下。  
現在総合治水対策として1 / 10規模を目標に整備を実施中。  
流下能力確保の支障となる橋梁等が多数ある。

### 河川整備計画目標の考え方

河道拡築や堤防整備、掘削により流下能力を向上(概ね1/30)させる。  
総合治水対策及び現在検討中の特定都市河川浸水被害対策法に基づく流域水害対策計画策定を視野に入れた整備を行う。  
必要な域外排水施設の検討・実施。

### 目標達成のための主なメニューと改修の進め方の基本的な考え方

現在着手済みの事業については、継続実施により完了し、所定の事業効果を発現させる。

堤防高が不足する区間については嵩上げ等を実施する。

流下能力確保のため、必要な区間について河道掘削を行う。

所要の安全度確保のために必要な域外排水施設について検討し、整備を行う。

流下能力の支障となっている橋梁及び堤防整備、河道掘削等により架け替えが必要となる橋梁について、管理者と調整を図り架け替え等を実施する。

自治体等と連携して行う事業等について、適宜実施する。

事業実施にあたり、調査・検討を要する事項

#### 域外排水施設

首都圏外郭放水路の延伸について、より効率的な整備について検討し、必要な施設整備を行う。

#### 新法との整合性

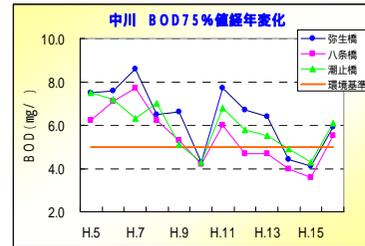
流域水害対策計画の検討においては、河川整備計画との整合を図る。

# 中川・綾瀬川における河川整備計画の考え方(環境)

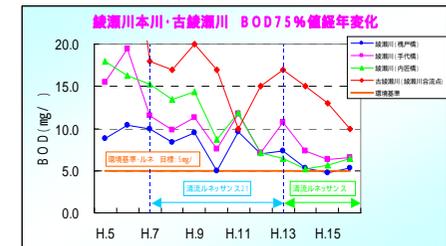
## 水 質

### 現 状 と 課 題

綾瀬川上流域では、依然として清流ルネッサンスの目標値を満たしていない。  
また、支川古綾瀬川でも目標値を満たせず、綾瀬川への流出負荷を与えている。  
中川では、改善傾向にあるが安定して環境基準を満たしていない。



中川の水質経年変化グラフ  
改善しつつあるが、ばらつきがあり環境基準を満たしていない年がある。



綾瀬川の水質経年変化グラフ  
改善傾向であるが、ルネの目標値を満足していない。

### 河川整備計画の目標

### 主な整備内容

綾瀬川に負荷を与える流入支川において水質改善対策を関係機関と連携し実施する。  
中川については、安定して環境基準を満足するよう関係機関と連携し、水質改善対策を実施する。

水質改善対策(中川、綾瀬川)

## 河 川 環 境 の 整 備 と 保 全

### 現 状 と 課 題

綾瀬川では、矢板等で護岸化された区間が多く、動植物の生育・生息環境が失われている。  
中川では、高水敷が少なく動植物の生育・生息環境が限られているため、自然環境の保全・再生が求められている。



綾瀬川



中川

### 河川整備計画の目標

河道掘削等においては、動植物の生息・生育環境の状況を把握し多自然川づくりを推進する。  
綾瀬川において、水際の緑化等を図る。  
中川において、高水敷の緑地等を極力保全するとともに、ネットワーク化を図り、自然環境の多様性の向上を図る。

### 主な整備内容

自然環境の保全・再生  
中川 河道掘削箇所《治水事業で実施》  
中川及び綾瀬川 自然環境の保全・再生

## 人 と 川 と の 豊 かな ふ れ あ い

### 現 状 と 課 題

中川、綾瀬川では首都圏における貴重なオープンスペースとして、水辺へのアクセス、利用しやすい河川空間、地域の活性化が図れる拠点整備等が求められている。



拠点整備事例  
(綾瀬川)

水面利用が多く、秩序ある水面利用が必要となっている。  
災害対策や水面利用の観点から航路の確保等の利用促進が望まれている。



水面利用(中川)

### 河川整備計画の目標

地域計画及び地域のニーズを踏まえ、親水性の向上を図り、水辺の楽校・水辺プラザ等の拠点整備を推進するとともに、ネットワーク化を図る。  
中川については、水面利用の促進を図る。  
関係機関及び地域との連携・調整を図りながら進める。

### 主な整備内容

拠点整備(中川、綾瀬川)  
綾瀬川ビオパーク整備(綾瀬川)  
街なみ川なみ「今様・草加宿」(綾瀬川)  
水面利用促進(中川)  
整備箇所については、地域計画及び地域のニーズを踏まえ、必要に応じて新たな施工場所を追加するとともに、自治体と連携し、施工場所、内容の調整を図り整備を行う。

注)この資料は検討途上の資料であり、今後の検討によって変わりうるものである。

# 中川・綾瀬川における河川維持管理の目標等について

## 目的等について

目的(治水・利水・環境)に応じた維持管理、状態(日常・異常時)に応じた維持管理を行う

河川管理施設等を効果的・効率的に維持管理するために、河川の維持管理に必要な水準を定め、河川の維持管理に関する計画を作成し、河川の監視・評価・改善を一連で行うことにより、サイクル型維持管理体系を構築する

## 河川維持管理の主な項目

河道の維持管理・・・中州の発達、河岸の洗掘、河道内樹木など

出水期前、出水後の巡視・点検等により河道の変化を把握し、洪水の円滑な流下を図る

河川管理施設の機能の維持・・・堤防、護岸、河川構造物、電気通信施設など

確実な治水・利水・環境機能が発揮できるよう平常時から状況を把握し、必要に応じ適切な修繕を行うとともに、施設操作を迅速かつ確実に行い、流域の安全を確保する

防災情報の共有、地域との連携

洪水時に迅速かつ的確な情報(水防警報・洪水予報等)を発信するとともに、地域の要請に応じて排水ポンプ車等の派遣を行い被害を最小限にとどめる。

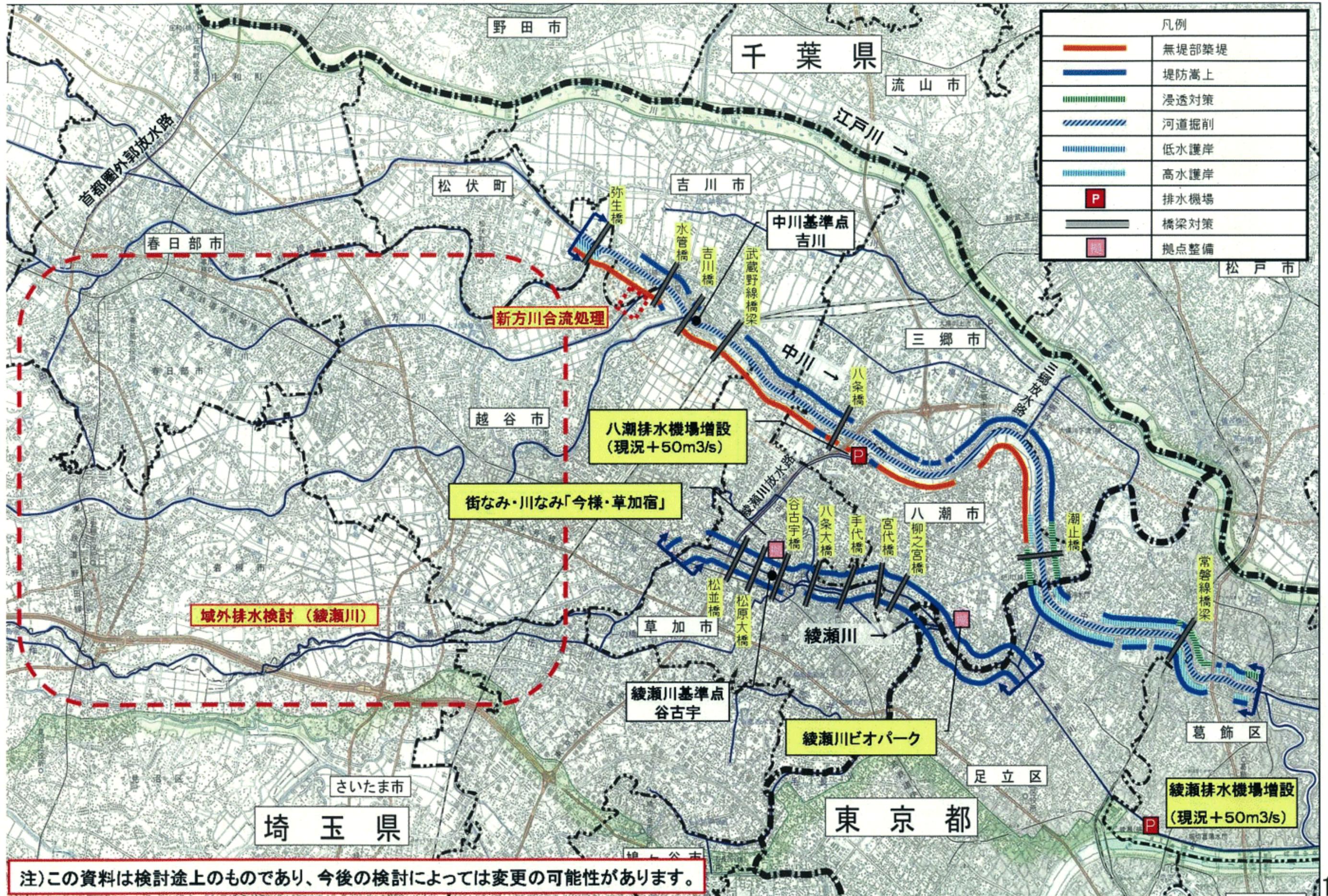
また、浸水想定区域、重要水防箇所等の水防上重要な情報を地域と共有し、洪水ハザードマップ等が早期に作成・公表されるよう連携の強化を図るとともに、地域防災力(水防活動等)を維持・強化するために地域と協働し取り組む。

河川環境の保全

河川区域における不法行為等の監視を行い、地域住民と協働した取り組みを図る



# 河川整備計画における事業位置図(中川・綾瀬川)



注)この資料は検討途上のものであり、今後の検討によっては変更の可能性があります。